



えびなの教育

発行 年2回・17,500部

編集・発行 海老名市教育委員会

〒243-0422 海老名市中新田 377

☎046(235)4916 FAX046(231)0277

～ラグビーワールドカップ2019™ 地域交流イベント～ 市内児童生徒・ロシア代表チームが交流

海老名市は、ラグビーワールドカップ2019™の公認チームキャンプ地として、9月28日（土）に海老名運動公園陸上競技場において、ロシア代表チームとの地域交流イベントを行いました。

イベントではロシア代表チームと市内の児童生徒との交流もあり、中学校のラグビー部の生徒は、ロシア代表チームとの合同練習に参加し、世界トップレベルの技術に目を輝かせてプレーに熱中しました。一方、小学生の児童は、選手からサインをもらったり、握手をしたり、「スパシーバ（ありがとう）」とロシア語でお礼を伝えるなど、交流を楽しんでいました。

また、海老名市の全小中学校より、ロシア代表チームに応援メッセージ入りの旗を贈呈し、ロシア代表チームからは各校にサイン入りのラグビーボールの寄贈を受けました。

海老名市に外国の代表チームがやってくる貴重な機会を通して、子どもたちのラグビーへの興味関心は勿論、国際理解教育の側面から、外国への興味関心を高めることができました。

◇問い合わせ◇ 教育支援課 指導係 電話 235-4919



教育長あいさつ「交流」

子どもたちのよりよい成長のためには、さまざまな栄養が必要です。私は、その中で、人との交流が子どもたちの成長の大きな栄養となると考えています。

保護者やご家族はもちろんのこと、教職員や地域の大人の方々など、その交流は、多ければ多いほど良いと思っています。できれば、赤ちゃんからお年寄りの方まで、あらゆる年齢層の方々が、文化や肌の色が異なるあらゆる国の方々と交流できれば良いと思うのです。

私は、これからの子どもたち（今の大人たちも含めて）に求められる大切な能力のひとつは、多様な人たちと、お互いを理解し、話し合っ、課題を解決して、ひとつのことを成し遂げる力だと思っています。そして、それを身につけることがとても大切だと思っています。

ラグビーワールドカップの次に、来年は東京2020オリンピック・パラリンピックです。

子どもたちに、その時にしかできない貴重な「交流」体験をしてもらいたいと願うのです。

教育長 伊藤 文康



オリンピック・パラリンピック教育実施中！ ～次世代を担う海老名の子どもたちのために～

教育委員会では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、次世代を担う子どもたちにとって一生の財産として心に残るような機会を提供するとともに、スポーツを通じて国際理解の促進を図ることができるよう、市内小中学校を「オリンピック・パラリンピック教育実施校認証校」として様々な関連した教育を実施しています。

毎月、「えびなっ子オリンピック・パラリンピックカレンダー」を市内小中学校に掲示したり、競技種目のルールなどを学んで実際に体験したりと、大会の開催に向けて市内小中学生が関わる機会を増やすことができるよう、海老名市オリンピック・パラリンピック教育を進めています。



▲セーリング教室の様子（有馬小学校）



▲オリパラカレンダー

◇問い合わせ◇

教育支援課 指導係 電話 235-4919

修学旅行補助金の交付が始まりました

教育委員会では令和元年度より、修学旅行に参加する市内在住の児童生徒保護者の経済的な負担軽減を図るため、児童生徒の修学旅行に要する経費に対し、補助金を交付しています。交付金額は、小学6年生の児童保護者には10,000円（上限）、中学3年生の生徒保護者には15,000円（上限）です。

また同じく、今後の海老名市立小中学校における修学旅行の在り方を検討するため、PTA、保護者、校長、教頭等を含めた委員で構成された海老名市修学旅行検討委員会を今年度設置しました。4月から現在まで協議を重ねてきましたが、今後さらなる協議検討を行い、よりよい修学旅行の在り方、保護者負担軽減の方策について提言をまとめます。

なお、検討委員会の結果は市のホームページにて公開しております。



▲日光東照宮 五重塔



◇問い合わせ◇

教育支援課 指導係 電話 235-4919

「こども110番の家」 看板デザインを一新しました

「こども110番の家」事業は、地域の力で子どもたちを守ろうという目的で、平成13年度より海老名市PTA連絡協議会が主体となって行ってきた活動です。本事業の趣旨に賛同した家庭や企業などにご協力をいただき、約1,300軒の玄関先や店頭などに目印としてプレートを表示しています。

これまで掲示してきたプレートは平成13年度に作成したもので、経年劣化が著しいことから、協議会内で検討し、今回の新プレートの完成に至りました。プレートは1,500枚作成し、既に各学校PTAに配布、9月から更新を始めています。

【旧デザイン】



海老名市PTA連絡協議会
海老名市教育委員会
海老名警察署 NO.

【新デザイン】



◇問い合わせ◇

学び支援課 学び支援係 電話 235-4926

障害者支援センターあきば 図書を受け取り・返却サービスを開始！

9月2日（月）から、上今泉六丁目にある海老名市障害者支援センターあきば内「カフェ はみんぐ」において、あらかじめホームページ等で予約した図書の受け取り、返却ができるようになりました。

これは、図書取次業務を障がい者の就労支援と地域住民との交流が図れる機会のひとつとして捉え、社会福祉法人星谷会への業務委託により始まったものです。

今回のあきばでの取次業務を開始することにより、周辺市民への図書サービスの拡大につながることを期待しています。



◇問い合わせ◇
学び支援課
学び支援係
電話 235-4926

◀障害者支援センターあきば

令和元年度（平成30年度対象）

教育委員会事務の点検・評価報告書を作成しました

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育行政の取組に対する自己点検・評価を行い、報告書としてまとめました。

報告書作成にあたっては、各担当課による自己点検・評価を行った後、外部知見の活用として、教育関係者等により組織されている海老名市えびなっ子しあわせ懇談会委員に評価をいただき、それらを踏まえ教育委員会としての評価を行いました。

報告書はホームページでも公開しておりますので、下記QRコードよりご参照ください。



▲点検・評価報告書の表紙



◇問い合わせ◇
教育総務課 総務係
電話 235-4916



受験生（中学3年生）応援！ インフルエンザ予防接種助成を実施します



教育委員会では、市立中学校の中学3年生と市内在住で私学等へ通う中学3年生を対象にインフルエンザ予防接種費用の助成を実施します。

インフルエンザ予防接種は、健康保険が適用されず接種費用が全額自己負担となることから、補助を行うことで保護者の負担軽減を図ります。

- ◇対象 市立中学校3年生及び市内在住で私立中学校等の3年生
- ◇自己負担額 1,000円（補助対象は1回のみ）
※接種費用の残額を市が補助
- ◇補助対象期間 令和元年10月1日～令和元年12月31日（接種期間）
- ◇接種方法 助成券を委託医療機関へ提示
- ◇接種時の持ち物 健康保険証、母子健康手帳、助成券（はがき）
- ◇問い合わせ 就学支援課 健康給食係（235-4921）

※詳しくは、各中学校を通して配付しております
お知らせ・助成券をご確認ください。



～子どもの居場所づくりに～ えびなっ子スクールを実施しています！

学校教職員OBや元PTA役員などによって構成される学校応援団が主体となり、「子どもの居場所づくり」を目的として、市内小学校全13校で「えびなっ子スクール」を実施しています。

今年度は、夏休み前半の7月22日から26日までと、後半の8月21日から23日までの間に多くの学校で実施しました。

スクールでは学校のあらゆる施設を利用し、運動系の活動や科学実験教室、工作教室、地域の伝統文化の体験講座、地元企業の協力による講座など、特色ある体験活動を行っています。

スクール自体は通年で活動していますので、日程をご確認の上、ぜひご参加ください。



▲えびなっ子スクールの様子▲

◇問い合わせ◇

学び支援課 学び支援係 電話 235-4926

「ひきこもりの理解と支援」 講演会を開催しました

教育委員会は、8月31日（土）こどもセンターにおいて、「さがみはら若者サポートステーション」総括コーディネーター代理 清水 元太 氏を講師として招き、『ひきこもりの理解と支援』講演会を開催しました。

講演では、「さがみはら若者サポートステーション」における取組や実際の事例を挙げて、支援のために大切なことなどをお話しいただきました。

ひきこもり体験当事者やそのご家族の方等 20人が参加し、真剣に耳を傾けていました。

また、講演会後には、相談会も実施しました。



▲講演会の様子▲

◇問い合わせ◇

学び支援課 若者支援室 電話 235-8411

第40回海老名市温故館企画展
新発見！
相模川の低地で見つかった

古墳と玉

相模川のほとりには色々な形の古墳が作られていました。周辺のムラでは、管玉が作られ、勾玉や小玉を使って祈りを捧げていたことがわかってきました。低地の古墳と出土した玉を紹介します。

9 企画展 9

令和元年11月1日（金）～令和2年2月2日（日）

9 ワークショップ 9

①「勾玉ストラップ」をつくろう！

プラスチック粘土で勾玉などを作ります。

令和2年1月18日（土）

(1)11時～12時30分 (2)14時～15時30分

先着順 各回15名（小学生以上）

②古代のくびかざりを描こう！

本物の勾玉を見て自分だけのくびかざりをデザインしよう！

毎日開催、どなたでもご参加いただけます。

9 展示解説 9

みどころをわかりやすく解説します。

令和元年11月15日（金）、令和2年1月18日（土）

(1)10時～ (2)13時30分～（各回30分程度）

※いずれも場所は海老名市温故館で、入館料、参加費は無料です。



▲相模川低地で見つかった古墳と玉▲

◇問い合わせ◇

海老名市温故館

電話 233-4028

＜悩みごとを抱えていたら…＞

「えびりーぶ」にご相談ください

海老名市教育支援センター「えびりーぶ」では、市内小中学校と連携し、心理や教育、福祉等の専門家が、教育相談等の支援をしています。

相談を希望される場合には、教育支援センター相談ダイヤルにご連絡いただくか、各学校の担任や教育相談コーディネーターの先生にご相談ください。

【海老名市教育支援センター：えびりーぶ】

相談ダイヤル TEL 046-234-8700

こども専用ダイヤル TEL 046-234-8762

いじめ相談ダイヤル TEL 046-234-8768



次号の「えびなの教育」は令和2年4月発行予定です



海老名市
住みたい 住み続けたいまち